





# 創立84周年記念式典を執行

## 岡田光史氏(崇光教教主)が祝辞 立正佼成会

立正佼成会(庭野日鏡会)は3月5日午前9時から、東京・杉並の本部大聖堂で「教団創立84周年記念式典」を執り行った。新型コロナウイルス感染防止対策を取った中、約2年ぶりに大聖堂に参列者が入場しての式典となり、ライブ配信(会員限定)も行われた。式典では、庭野光祥次代立正佼成会会長と交流を重ねる中、庭野日鏡開祖、庭野会長から受けた薫陶やエピソードなどを語った。その中で庭野会長の説いた「簡素生活」と環境問題の関連を挙げ、自身も南太平洋のイースター島でマイクログラスチックゴミを目の当たりにし、レジ袋の再利用を信者に伝えていることなどを明かした。そして



庭野会長が「法話」を述べた

# 信仰の視野を広げ、世界に目を向け 離れた地の平和を祈る

## 創立43周年立教祭 真生会

真生会(田中康仁会長)は4月17日午前10時から、岐阜市の総本山真生寺で「創立43周年立教祭」を厳修した。異教会と遠方の信者らはオンラインでライブ配信を通して参拝した。田中康仁会長を導師に「立教感謝の祈り」を捧げ、読経。田中会長が啓白文を奏上し、田中健爾



田中会長が「真教法」を述べた

「私どもは、お釈迦さまの御前に一大事因縁をもって、共生を許されている」と思い出す」と「絶対共生」の大切さを述べた。庭野会長が登壇し、「法話」を述べた。岡田三代教教主の御交についてあらためて紹介した後、ロシアとウクライナの平和実現の困難さ、老いることの意味などについて解説した。

そして、工学博士の森政弘氏による宇宙の生命と人間の命の関係性に関する言葉を引き、「いのちの不思議、有り難さを深く自覚することによって、どんな苦難に出遭っても、前向きに生きていく活力がわいてきます」といま、ここに頂

「お祈りの儀」を行った。少憩後、礼拝の功績を讃える「一心」行表彰と、役員任命の後、田中会長が「真教法」を述べた。田中会長は「今年度の信託目標について解説異常気象、田中会長が「真教法」を述べた。田中会長は「今年度の信託目標について解説異常気象、田中会長が「真教法」を述べた。

「お祈りの儀」を行った。少憩後、礼拝の功績を讃える「一心」行表彰と、役員任命の後、田中会長が「真教法」を述べた。田中会長は「今年度の信託目標について解説異常気象、田中会長が「真教法」を述べた。

「お祈りの儀」を行った。少憩後、礼拝の功績を讃える「一心」行表彰と、役員任命の後、田中会長が「真教法」を述べた。田中会長は「今年度の信託目標について解説異常気象、田中会長が「真教法」を述べた。

# それぞれの立場や役割務め

## 春季大祭を2週に分け実施 円心教

円心教(深田充啓教主)は4月3日、及び10日の午後1時から兵庫県丹波市の本部本殿で「春季大祭」を執り行った。新型コロナウイルス感染防止策として大祭を2週に分けて実施。参拝者にはマスクの着用を徹底した。大祭は両日も、深田充啓教主に続いて責任役員が入場した後、献上祭員による献花・献儀・献茶の「献上の儀」で真殿が荘厳された。続いて深田教主を祭主とし、一同で新型コロナウイルス早期終息、全世界を寧平和、ロシアによるウクライナ侵攻早期終息を祈念する「おつこめ」を黙唱で行った。

「御親教」で教典を説く深田教主

「御親教」で教典を説く深田教主

# ウクライナ 緊急義援金勧募を発表

## 春季大祭 平穏な生活を祈る 救世真教

救世真教(新井光興会長)は4月3日午前10時から、群馬県高崎市の本部聖地で「春季大祭」を執り行った。今年も新型コロナウイルス感染拡大防止のため、マスク着用、大防止のため、人教制座席の間隔を空け、人数制限をするなどの対策を施した上で実施し、参列できなかった会員に向け動画配信を行

「御親教」で教典を説く深田教主

# 妙法の尊さと「ご守護」を解説

## 記念祭を執り行う 福聚の会

福聚の会(杉浦妙周会長)は4月24日午前9時半から、愛知県知立市の本部・大乗山法隆寺で「福聚の会記念祭」を執り行った。福聚の会は2000(平成12)年4月、先祖代々から受け継いだ因縁深い聖地を本部として、杉浦妙周会長が「福聚の会」を設立。以来、「法華経」の実践と杉浦会長の師、柴垣法隆聖師から教を受けた「法華経」の伝道に努めている。

「ご守護」について解説した。田中会長は「今年度の信託目標について解説異常気象、田中会長が「真教法」を述べた。

「ご守護」について解説した。田中会長は「今年度の信託目標について解説異常気象、田中会長が「真教法」を述べた。

# 崇高なる精神で日々の生活を

## 第82回三聖地巡拝 解脱会

解脱会(本部東京・四谷・岡野英祥法主)は4月13日にかけて、三重県の伊勢神宮と奈良県の橿原神宮、京都府の御寺泉涌寺を巡る「第82回三聖地巡拝」を企画した。1日は伊勢神宮・外宮にて御垣内参拝の後、「奉拝の儀」を執り行った。その後、本部役員が神樂殿に昇壇し、特別大々神樂を奉納。橿原神宮では、本部役員らが神職の先導により内拝殿に参進。岡野英祥理事長による玉串奉奠、拝礼行事を行った後、神武天皇陵を参拝した。3日は御寺泉涌寺を参

「御親教」で教典を説く深田教主

# 素直と暖かい心で救われる

## 69回目の御聖神祭を執行 霊波之光

霊波之光(波瀬敬詞教主)は3月7日午前10時40分から、千葉県野田市の本部・礼拝堂で69回目の「御聖神祭」を執り行った。同祭は、1954(昭和29)年の同日、初代教主の波瀬善雄師(御守護神様)が、大宇宙の神の分神であることを明らかにしたとされる日を記念したもので、教団の三大佳節の一つ。波瀬敬詞教主(二代様)が天使團最上階で「御祈り」を捧げた。この後、礼拝堂で理事と信者代表、役員代表がそれぞれ

「御親教」で教典を説く深田教主

# ウクライナ紛争早期終結願う

## 春の大法要・平和祈願式典 妙智會教団

妙智會教団(本部東京・代々木・宮本恵司法嗣)は3月28日午前10時から、千葉県九十九里町の千葉聖地にて「春の大法要・平和祈願式典」を厳修した。法要に先立ち、宮本丈晴大導師の祥月命日にあたる3月26日午前、宮本恵司法嗣は千葉聖地のご廟所で、大導師に供養の誠を捧げるとともに春の大法要の無事開催と世界平和を祈念した。28日の大法要は、大導師の須弥壇中央に「紛争戦没者一同の諸精霊・紛争犠牲者一同の諸精霊」の木牌、宮本ミツ子大導師の法號が安置され、開式した。宮本法嗣が登壇し、会主と大導師の指導を引きながら、ロシアのウクライナ侵攻について言及。「国同士

「御親教」で教典を説く深田教主

